



発行所 宗教新聞社
東京都新宿区新宿5-13-2
〒160-0022
電話 03-3353-2940(代)
FAX 03-3363-5182
郵便振替口座 00130-9-22704
URL http://www.religion-news.net
© 宗教新聞社 2019

購読料(税込)
1部 500円(千共)
半年 3,000円(千共)
年間 6,000円(千共)

「精神革命の旗手
一、宗教連合の具現
一、地上天国の建設」

「主人公として生きよ」

竹村東洋大学学長が講演



シンポジウムの様子=2月16日、東京都文京区の東洋大学

2月16日、東京都文京区の東洋大学で、シンポジウム「鈴木大拙の思想とその史的意義」が、国際研究ロジエクト(伊吹教授代表)と東洋大学東洋学研究所の共催で開催された。

竹村学長は「鈴木大拙は戦前の日本を否定し、自主的、主体的に生きることを大切にした」と述べ、大拙の思想が、現代の日本人に何を教えるべきかについて語った。

社説

生き方が問われる

「日本列島復興」新潮選書を書いた井上岳一氏は、学生時代、林野下北半島のマギの研究をし、林野下に入って地方分権に専念した。林業政策に携わったが、資本主義社会で置き去りにされた山村を救済するために、自ら山を造ることに決めた。

里山を守る暮らし

分かっていても、何のために黙々と続けている。そして「国や会社に頼れず、家族も限界がある中で、古来、この列島に暮らしてきた人々の暮らしを守り、里山の山と水と畑とを育て、自然環境を守り、人々の暮らしを支える。それが、里山を守る暮らしである。」

高野山真言宗のなごやか法話寄席
仏様の真似をして生きよう

2月18日、横浜市中区。法話の内容は次の通り。弘法大師の謔号の横濱(きわい)座で高野山真言宗宗務長井上岳一氏が、山真言宗宗務長井上岳一氏に、高野山真言宗の歴史と、高野山真言宗の宗務長としての役割について話した。



法話を語る宗務長井上岳一氏。2月18日、横浜市中区の横浜(きわい)座。

「弘法大師の謔号の横濱(きわい)座で高野山真言宗宗務長井上岳一氏が、山真言宗宗務長としての役割について話した。高野山真言宗の歴史と、高野山真言宗の宗務長としての役割について話した。」

「弘法大師の謔号の横濱(きわい)座で高野山真言宗宗務長井上岳一氏が、山真言宗宗務長としての役割について話した。高野山真言宗の歴史と、高野山真言宗の宗務長としての役割について話した。」

「弘法大師の謔号の横濱(きわい)座で高野山真言宗宗務長井上岳一氏が、山真言宗宗務長としての役割について話した。高野山真言宗の歴史と、高野山真言宗の宗務長としての役割について話した。」

「弘法大師の謔号の横濱(きわい)座で高野山真言宗宗務長井上岳一氏が、山真言宗宗務長としての役割について話した。高野山真言宗の歴史と、高野山真言宗の宗務長としての役割について話した。」

「弘法大師の謔号の横濱(きわい)座で高野山真言宗宗務長井上岳一氏が、山真言宗宗務長としての役割について話した。高野山真言宗の歴史と、高野山真言宗の宗務長としての役割について話した。」

宗道よ!今こそ「古来の本物の道」に戻るのだ! 奈良泰秀 エハン・アラヴィ 著

日本宗教の闇 拉致監視による強制宗教との戦い 室生忠孝 著

日本国始め饒速日大神の東遷 日本よ、蘇れ 日本神話の知恵 出雲井品 著

魔のJR中央線 自警隊の撮影で判明した! たま出版

私の生命の復活 日本人の宗教性(非善性)は回復するか? 上橋 泉 著